

奈良県の結核

奈良県における結核の概況(令和元年)

結核患者の発生状況

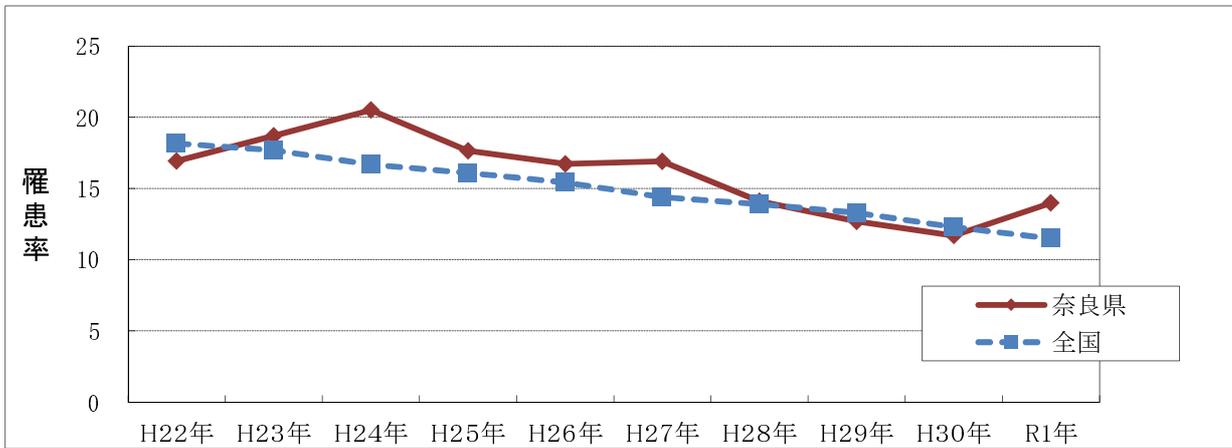
令和元年奈良県の新登録患者は186人、喀痰塗抹陽性患者は77人(41%)であった。

		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
新登録患者数	奈良県	237	261	285	244	230	230	191	171	156	186
	全国	23,261	22,681	21,283	20,495	19,615	18,280	17,625	16,789	15,576	14,460
新登録喀痰塗抹陽性患者数	奈良県	83	94	96	93	104	90	75	82	63	77
	全国	9,019	8,654	8,237	8,119	7,651	7,131	6,642	6,359	5,783	5,231
年末現在登録者数	奈良県	541	579	599	591	552	520	451	388	354	345
	全国	55,573	55,196	52,173	49,814	47,845	44,888	42,299	39,670	37,140	34,523
年末現在活動性結核患者数 (=要治療者数)	奈良県	188	205	226	194	176	174	139	116	113	129
	全国	17,927	17,264	14,858	13,957	13,513	12,534	11,717	11,097	10,443	9,695

罹患率

奈良県の罹患率は14.0に上昇し、全国を上回り、全国ワースト4位となった。

(人口10万人あたりの新登録患者数)

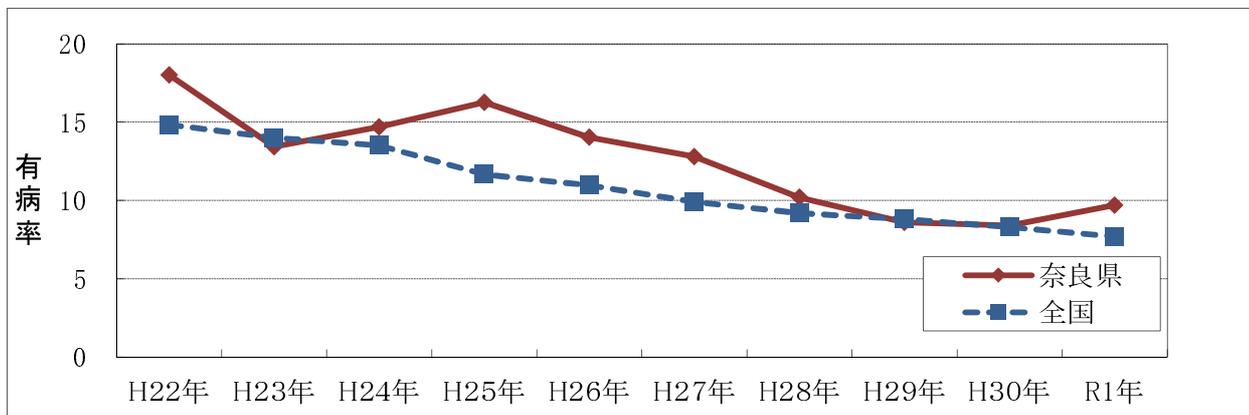


		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
罹患率	奈良県	16.9	18.7	20.5	17.6	16.7	16.9	14.1	12.7	11.7	14.0
	全国	18.2	17.7	16.7	16.1	15.4	14.4	13.9	13.3	12.3	11.5

有病率

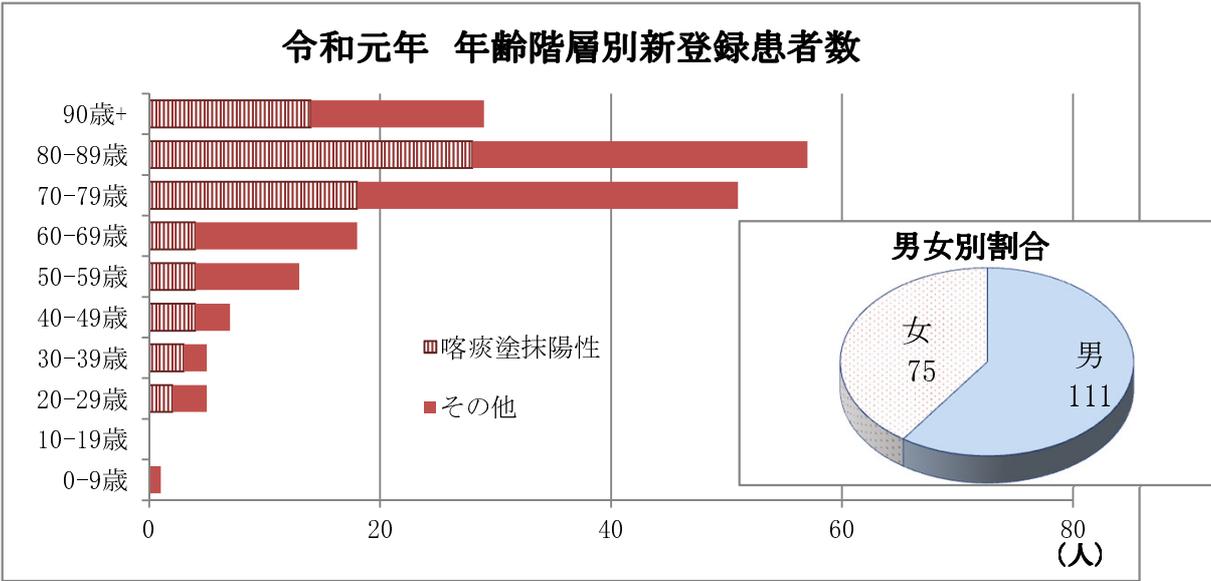
奈良県の有病率は9.7に上昇し、全国平均より高い状況が続いている。

(人口10万人当たりの年末現在治療を要する患者数)



		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
有病率	奈良県	18.01	13.43	14.7	16.3	14.0	12.8	10.2	8.6	8.4	9.7
	全国	14.83	14	13.5	11.7	11.0	9.9	9.2	8.8	8.3	7.7

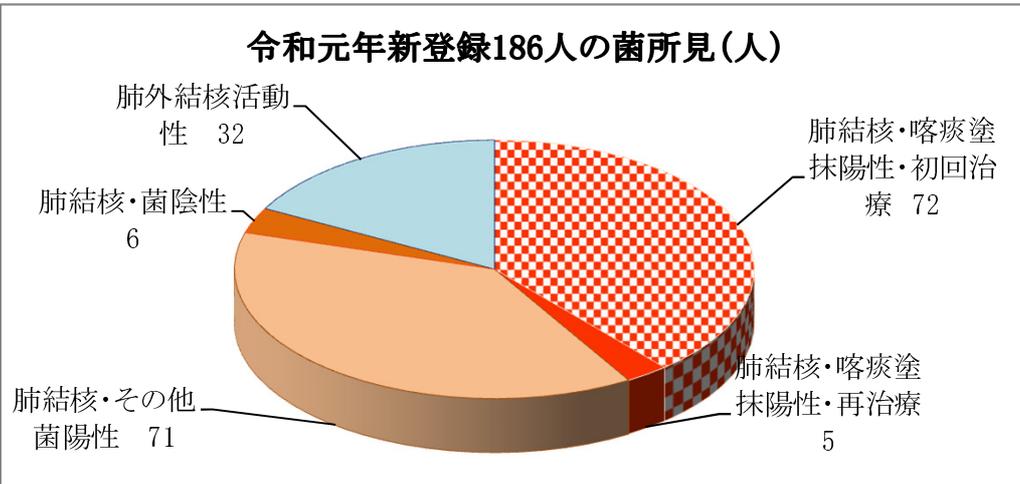
新登録患者の年齢 60歳以上の患者が83% (70歳以上74%)を占める。男性患者は60%であった。



	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳+
喀痰塗抹陽性	0	0	2	3	4	4	4	18	28	14
その他	1	0	3	2	3	9	14	33	29	15
総数	1	0	5	5	7	13	18	51	57	29

新登録患者の菌所見

新登録患者186人のうち肺外結核は32人(17%)であり、全国平均(23%)より少なかった。



	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症 (LTBI) 治療中
	総数	肺結核活動性							
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の菌陽性	菌陰性・その他	肺外結核活動性	
			総数	初回治療	再治療				
計(人)	186	154	77	72	5	71	6	32	87
男(人)	111	95	53	50	3	39	3	16	38
女(人)	75	59	24	22	2	32	3	16	49
全国(人)	14,460	11,094	5,231	4,966	265	4,382	1,481	3,366	7,684

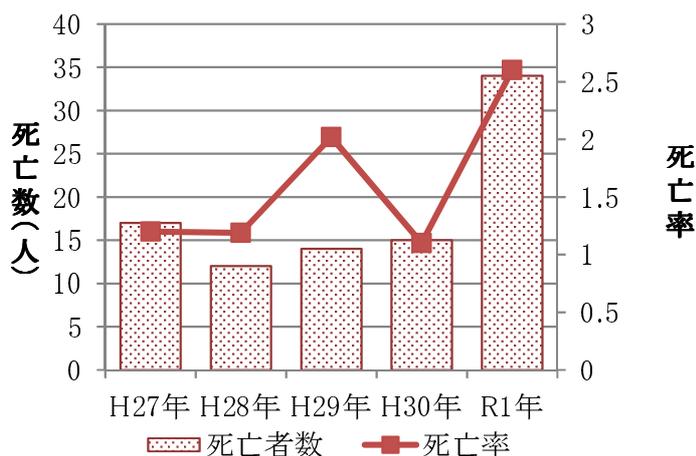
令和元年 新登録患者数(結核病類・性別)

結核病類	新登録患者総数	肺結核	気管支結核	咽頭・喉頭結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	結核性膿胸	肺門リンパ節結核	他のリンパ節結核	結核性髄膜炎	腸結核	脊椎結核	他の骨関節結核	腎・尿路結核	性器結核	皮膚結核	眼の結核	耳の結核	結核性腹膜炎	結核性心膜炎	その他の臓器の結核
合計	186	159	0	0	6	46	0	1	5	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
男	111	95	0	0	0	28	0	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
女	75	64	0	0	6	18	0	0	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

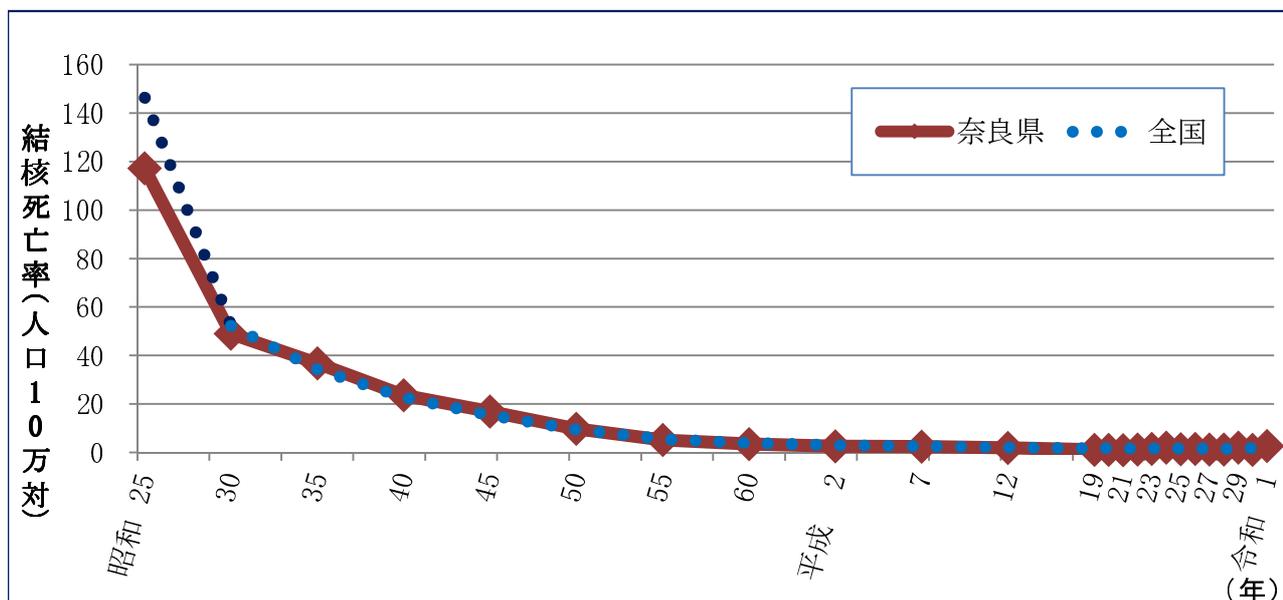
結核死亡率の推移

令和元年の結核死亡者数は34人(死亡率 2.6)であり、全国平均(1.7)より多かった。

奈良県結核死亡者数と死亡率

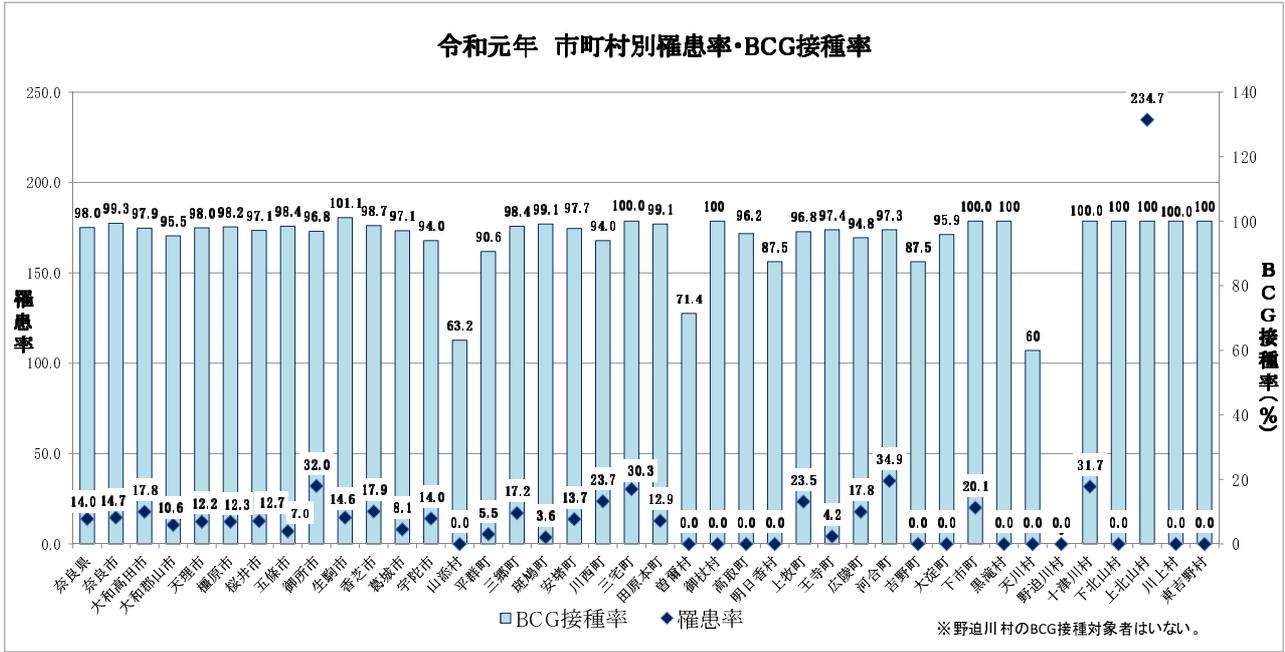


	結核死亡者数(人)		結核死亡率(人口10万対)	
	奈良県	全国	奈良県	全国
H27年	17	1956	1.2	1.6
H28年	12	1889	1.19	1.5
H29年	14	2306	2.0	1.85
H30年	15	2204	1.1	1.8
R1年	34	2088	2.6	1.7

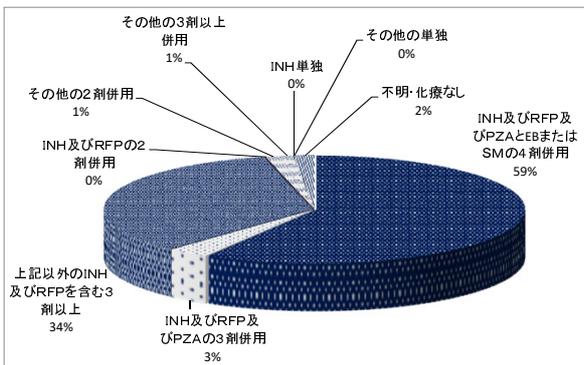


市町村別結核罹患率とBCG接種率

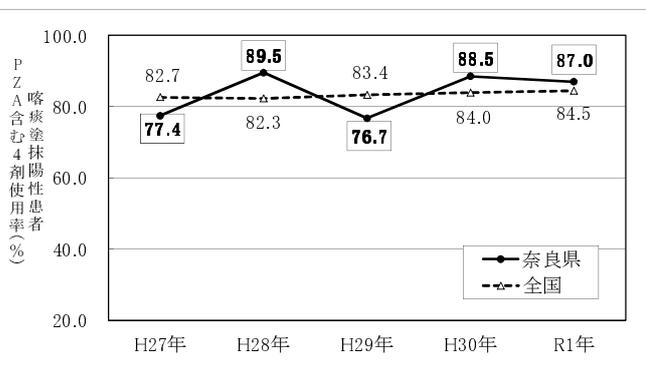
令和元年奈良県内の罹患率は、奈良市保健所管内14.7、郡山保健所管内11.8、中和保健所管内15.6、内吉野保健所管内9.4、吉野保健所管内5.9であった。また、30市町村でBCG接種率95%以上であった。



新登録活動性結核患者の加療内容(令和元年)



新登録全結核80歳未満中PZA(ピラジナマイド)を含む4剤治療割合



前年新登録患者の治療成績

	合計	治癒	完了	死亡	失敗	脱落	転出	治療中	不明
H29年	190	63	65	45	0	3	10	3	1
H30年	171	61	52	47	0	1	4	5	1
R1年	156	69	39	32	0	3	4	9	0

※令和元年の全数把握対象疾患の2、二類感染症の結核の届出数と奈良県における結核概況(令和元年)の数値は異なる。「全数把握」とは、届出基準により診断した医師が、各医療機関の最寄りの保健所に提出した発生届の数であり、「奈良県における結核概況」は、結核患者の居住する保健所管内における、年末現在の登録者及び年間の登録除外者について入力された数である。